

ZANDEN Model 120 の展開(75) ーベーターヴェンを聴き直す(10)ー

1. 始めに

前報(74)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンのピアノソナタの下記を選定しました。

LONDON SLC1043 (キングレコード)

ピアノソナタ第 8 番ハ短調作品 13 悲愴

ピアノソナタ第 14 番嬰ハ短調作品 27 第 2 月光

ピアノソナタ第 21 番嬰短調作品 53 ワルトシュタイン

ラドゥ・ルプー

CBS SONY 25AC100

PIANO SONATA Op.57 Appassionata

PIANO SONATA Op.31

Lazar Berman

上記は下記で報告しています。

[アナログ再構成後の活用\(25\)](#)

アナログ再構成後の活用(26)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

LONDON SLC1043 (キングレコード) のルプー盤は、TELDEC、逆相、第4時定数 High で、CBS SONY 25AC100 の Berman 盤は、Columbia、逆相、第4時定数 Low で聴いていきます。

LONDON SLC1043 のピアノソナタ第8番悲愴は、若いルプーのデビュー盤と言ってもよいもので、潑瀾とした演奏です。ピアノソナタ第14番月光は、もう少し繊細な表現が欲しいところですが、情熱をかけたような演奏です。ピアノソナタ第21番ワルトシュタインは、やや粗削りながら、若さをぶっつけるような破壊的な演奏も見せています。

CBS SONY 25AC100 の PIANO SONATA Op.57 Appassionata は、幻のピアニストと称された Berman のアグレッシブと言える激情をたたきつけるような演奏ですし、PIANO SONATA Op.31 は、軽やかに疾走するような演奏です。

4. まとめ

前回の試聴以降、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上